



## 留学体験談「私の目的」

### 「日本ではできないことをやる！」

★先輩体験談：山岡 美貴さん【留学先：ブラジル パドレ・ウェマー高校】H30高

#### ●きっかけ

小さい頃から海外に興味があり、留学機関の説明会に行き、留学を決意しました。また、説明会のパンフレットを見て、自然豊かで人も優しいブラジルに行くことにしました。

#### ●準備で力を入れたこと

留学の理由や、自分が将来どうしたいのかについて、自分の中で整理して明確にしておくことを心掛けました。

#### ●達成目標

「日本ではできないことをやる！」

現地の言葉をできるだけ早くマスターし、留学先の国だからできるボランティア活動をすることを目標にしました。

留学中、現地コーチにご協力いただき、週に一度現地の子供たちに無料でテニスを教えるボランティアをしました。初めは生徒が2人しかおらず、私のポルトガル語力の低さもあり、なかなか上手くいかないこともありましたが、ご家族がレッスンを手伝ってくれたり、ラケット代にと寄付を下さる方もいて、ついには20人以上の生徒がレッスンに来てくれるようになりました。この経験を通じ、人の繋がりの素晴らしさを知り、改めてブラジル人は温かい人々だなと感じました。

#### ●思い出

最初は、現地の学校に馴染むことに苦労しました。文化的背景の違いに加え経済的背景も違うクラスメイトもたくさんいて、クラスで1人になることもありました。しかし、クラスメイトと一緒に歌ったり踊ったりすることで少しずつ輪の中に入ることができ、バックグラウンドが違っても友情を築くことができると知りました。ホストファミリーや学校のクラスメイトなどと過ごすたわいのない日々が1番楽しかったですが、特にブラジルは南半球なので夏のクリスマスは思い出深いです。家族でクリスマスディナーをしたり、プレゼント交換で盛り上がり、家族愛に溢れた幸せな時間を過ごすことができました。



### 「世界を自分の目で見て確かめる」

★先輩体験談：高野 恭平さん【留学先：ロンドン大学大学院&リバプール大学】H30大

#### ●きっかけ・達成目標

大学では医学を学び、私は病院の中で産婦人科医師として働いていました。ただ、人の健康は病院で完結するものではありません。そこで、病院の外の生活がいかに私たちの健康に影響を与えるかを学ぶため、ロンドン大学熱帯医学大学院とリバプール大学でそれぞれ1年間、公衆衛生学を専攻しました。留学前は日本での臨床経験しかありませんでしたが、この留学の経験で、海外での臨床経験をはじめとして、今後の研究に役立つような視野がかなり広がったと感じています。

#### ●留学経験はどのように社会の中で役立っているか

この留学をきっかけに、実体験を積み重ねることでしか手に入らないものを得ました。実際に世界の文化を見て、世界の人たちの声を聞いて、自分なりの世界観を確立できたように感じています。

留学後、欧州開発復興銀行に勤務し、銀行がお金を貸すことで、間接的にどれだけ人の健康を守れるかを評価する仕事をしています。

現在は日本に来る移民に提供されている医療に興味を持ちはじめ、今後は移民の方へのケアを行う活動を考えています。

#### ●これから留学する後輩へメッセージ

留学する意義は、知識でも語学でもありません。それらはインターネットからいくらでも学ぶことができます。皆さんはご両親や先生からたくさんの大切なことを教わってきたと思います。でも、世界から見れば、それらは偏見に満ちたものかもしれません。真実はあなた自身で確かめて来てください。きっと更に面白いことがあなたを迎えてくれると思います。



欧州開発復興銀行ロンドン本部にて

